

◆ **平成25年度栃木県こんにゃく立毛共進会表彰式・生産流通研究会**



平成26年2月17日～18日、日光市内において、2年に1度開催するこんにゃく立毛共進会表彰式を行った。地方審査を経た中央審査9点の中からJAはが野の根本太一さんが最優秀賞に選ばれた。根本さんは平成元年からこんにゃく栽培を親から受け継ぎ、良質な芋づくりに取り組んでいる。「今後も高品質栽培に取り組むとともに、新技術の導入や産地活性化に取り組む」と決意を述べた。引き続き行われた生産流通研究会では、「こんにゃくをめぐる事情」「施肥の方法」「根腐れ病対策」等、専門の講師を招いて研修を行った。次回は、平成27年度予定。

◆ **第63回関東東海花の展覧会開催**

1月31日（金）～2月2日（日）、東京都池袋サンシャインシティ文化会館において、第63回関東東海花の展覧会が開催された。（当番県 愛知）

出品は1,693点で、本県は、バラ、きく、カーネーション、ゆり、トルコギキョウ、洋らん等124点を出品。入賞は金賞6点、銀賞9点、銅賞16点とあわせて31点となった。

特に、球根切花の部（オリエンタルユリ）では、宇都宮市の天谷 正氏、一般切花の部（トルコギキョウ）では、足利市の室田 憲一氏が農林水産大臣賞を受賞した。

**農林水産大臣賞受賞**



天谷正氏受賞  
（オリエンタルユリ）



室田憲一氏受賞  
（トルコギキョウ）

◆ **とちぎ農産物モニター交流会(グループインタビュー)の開催**

**第3回交流会「とちぎのお米を考える！」**

1月24日（金）とちぎの旬彩店「響」銀座三丁目店（東京都）にて、第3回交流会「とちぎのお米を考える！」グループインタビューを開催し、県外消費者モニター27名が参加した。

第1部では、お米へのこだわり、イメージ、購入等の意識調査、第2部には、石釜で炊き上げた「栃木のコシヒカリ」と栃木の郷土料理を提供し、栃木県産農産物のイメージアップ及び安全安心の取組等を積極的にアピールし、「食」の魅力を発信した。



**第4回交流会「スカイベリーの集い」**

2月22日（土）メトロポリタン池袋（東京都）にて、新品种「スカイベリー」の消費者認知度を把握するため、年代別に分けグループインタビュー形式で第4回交流会「スカイベリーの集い」を開催し、県外消費者モニター28名が参加した。

当日は、スカイベリーを含め各産地の品種を用意し、「イメージ」「パッケージ」「味」などについて食べ比べや、スカイベリーを使用したスペシャルスイーツを提供し、意見交換を行った。

参加者からは、「スカイベリー＝高級のイメージを崩さないようにしてほしい。」「特別な日に用意するのは、スカイベリースーツ！」などのさまざまな意見があった。



◆ **とちぎ花フェスタ2014 in さの&栃木県花の展覧会**



2月7日（金）～9日（日）、佐野市で「とちぎ花フェスタ2014 in さの」、「栃木花の展覧会」が開催され、来場者は22,000人となった。

今回のテーマは「とどけます 春の息吹と 佐野ごころ」とし、「見る・学ぶ・遊ぶ・味わう・体験する」といったコーナーを設けて来場者は花いっぱいの会場でふれあう一日となった。

また、栃木県花の展覧会では、スプレーぎく、バラ、ユリ、トルコギキョウ・洋蘭など約220点が展示され、来場者を魅了した。農林水産大臣賞には、カーネーションの部で栃木市の岸 秀紀氏が受賞した。

◆ **とちぎアスパラガス情報交換会**

2月13日（木）農協会館において、栃木アスパラガス情報交換会を全農とちぎと共催し、生産者及び関係者約50名の参加により開催した。各産地の現状と課題について情報交換し、更なる生産拡大・販売強化に向けた取組みを推進することとした。



◆ **栃木県食品商談会 in 香港2014に出展**

2月13日（木）香港市内ホテルにて開催し、40数社計約80名の招待者が訪れた。協会含め県内から9社の出展があった。

協会ではなすひかり及びとちぎ和牛を試食・紹介し商談を行った。他の企業からは県産の野菜や果実の加工品、パン加工品、ジェラート、酒類、益子焼きを紹介した。今回は、前年以上に盛況で各出展者ともに充実した商談等がなされたようであり、成功裡に終了することができた。とちぎ和牛・なすひかりの試食も好評だったので、今後の県産輸出拡大に繋がるものと期待できる。



## ◆ フードバレーとちぎ観光地商談会に出展

2月19日(水)ホテルエピナール那須にて開催し、40社が出展した。大雪後の凍結で足場が悪いため参加者は少なかったが、ホテル関係者や観光客合計360名で賑わった。

本協会では、那須の白美人ねぎ、とちおとめ、トマト、ひめきゅうり、那須の春香うど、ちぢみほうれんそう、かき菜、無漂白及び味付け干瓢の計9点を展示紹介した。地元の名品であるねぎやうどは十分知名度が高かった。

特に参加者の関心を引いていたのは、食品関係者では、ミニサイズ、使い方(食べ方)などでひめきゅうり、観光客(特に県外者)では、なつかしさと日本一の産地である干瓢であった。



## ◆ いちご王国グランプリほ場審査



2月20日～21日にかけて、県・全農・当協会などの審査員が第8回いちご王国グランプリほ場審査を行った(8JA、11ほ場)。今回の審査では生育状況・着果状況・管理状況・病害虫の発生状況が審査され、いわゆる立毛の状態がいいものが上位となる。

次回は、4月に第2回の品質審査、6月に収量審査が行われ、1月の第1回品質審査とトータルしてグランプリが決定されることとなる。

## ◆ シンガポールにおける県産農産物の販路開拓調査



2月23日(日)～26日(水)シンガポールにて県産農産物の販路開拓調査を栃木県、全農とちぎと共に実施した。香港に次ぐ輸出先として、富裕層が多く、日本産農産物の認知度が高いシンガポールを新たなターゲット国として、日系店舗バイヤーおよび輸入業者と情報交換を行った。

今回の訪星では宇都宮大学の協力を得て、いちごの海外輸送試験も行った。長距離輸送に適する容器の検討に繋げる。

## ◆ とちぎのいちご元気アピールキャンペーン

2月25日(火)栃木県庁1階県民ロビーで、とちぎのいちご元気アピールキャンペーンを実施した。期待の新品種スカイベリーを使用した「スカイベリースイーツコンテスト」やいちごショートケーキ等の販売を行い「いちご王国とちぎ」の元気を発信するとともに、放射性物質モニタリング検査で確認された本県産いちごの安全性を消費者に対してPRし、イメージアップを図った。



## ★★「とちぎの地産地消推進店」の新しい仲間★★

店舗名	住所	電話番号	代表者
(株)かましん 清原テクノ店	宇都宮市ゆいの社1-2-21	028-667-6663	青果課長 瀧田 一成
(株)かましん カルナ駅東店	宇都宮市宿郷3-16-3	028-651-6006	店長 菊池 和佳
(株)かましん 平松本町店	宇都宮市平松本町767-2	028-683-1881	店長 大越 鉄夫
(株)かましん ミュゼ豊郷台店	宇都宮市豊郷台2-87	028-643-8818	店長 渡辺 宏幸
(株)かましん 雀宮店	宇都宮市雀の宮6-4-5	028-688-3601	店長 羽下 篤

## 今後の予定

- 1日(土)～4月30日(水) 栃木路フェア(埼玉県:パレスホテル大宮)
- 1日(土)～2日(日) 地産地消いちごフェア(福田屋百貨店宇都宮店)
- 3日(月) いちごパック詰めロボット・プロジェクト会議(農水省会議室)
- 4日(火) 観光振興、復興県民会議(県公館)
- 6日(木) 協会 幹事会(JA会館第3会議室)
- 7日(金) きく現地検討会(大田原市)
- 13日(木) 特産料理講習会(男女参画センター)
- 協会 理事会(JA会館第2会議室)
- 17日(月) とちぎベジミルクスープとデザート等の料理講習会(那須塩原市)
- 18日(火) 農業会議定例総会(アグリプラザ)
- 27日(木) 協会 第23回定時総会(JA会館第5会議室)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会(平成26年3月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>

